

# 小学1年2組 図画工作科学習指導案

指導者 三 桐 撰 夫

## 1 題材名 すきとおる いろとかたちで あらわそう（造形遊び）

### 2 題材のねらい

カラーセロハンを切り取り、並べたり組み合わせたりする。自由に組み合わせられたカラーセロハンをラミネート加工して、光にかざしたり色や形から見立てたりする。色や形の特徴や、そこから生じるイメージに注目し、ラミネートから形を切り出して並べたり、つなげたりしながら、表したいことがらを感性豊かに追求することができる。

### 3 授業の構想

(1) 次の文章は、野菜のスタンプを使った学習活動後の日記である。

「ずこう」

あのね、ずこうをしたよ。はったりきったりだいさくせんのつづきをしたよ。やさいのスタンプでかざったよ。うえは、きいろのおくらでいっぱいつけたよ。したのぶぶんは、おくらと、びいまん、ねぎをつかって、いろんないろでぺたぺたしたよ。うえのぶぶんはほしぞらで、したのぶぶんは、はなばただよ。まんなかにはなんにもないから、びいずとかでかざりたいな。(児童A)

本学級の子どもたちは、感性を働かせながら素材などの対象と好奇心旺盛に向き合い、思いついたことや感じたことを意欲的に話すことができる。就学前までの画材や用具の経験には個人差がある。はさみを使うことやクレヨンや絵の具などを上手に使える子どもも多いが、入学以降、新鮮に味わい楽しんでいる姿も見られる。水彩絵の具の使い方を学び、油粘土の感触を楽しみながら形づくる経験を積みつつある段階である。

カラーセロハンには、光が透過する素材で、セロハンの色に応じて影にも色が付く。光にかざして透過光を映すことや異なる色を重ねて混色を楽しむことができる。はさみで切り取ることが容易であるが、紙素材とは異なり力の加減がやや難しい。これら素材の特徴の幾つかについて、子ども達が素材と向き合い、遊びを通して子ども同士で関わり合い、何ができそうかを考えて、気付きを獲得していくことが「問題解決能力」をのばしていくために重要な活動になる。造形表現を下支えする技能面の育成においても、低学年時期の体験として積み重ねさせていきたい。素材や表現対象に対する子ども一人一人の見方、感じ方を十分に耕すことが大切である。

また、カラーセロハンにラミネート加工すると、強度が増し形状が安定する。ラミネートする際には、カラーセロハンの形を自由に加工できるし、2、3枚程度であれば色の重なりも表現できる。ラミネート後は、はさみでの切り取りやセロハンテープでの接合も可能である。見立てから自由に形を切り出して、組み合わせることができる。試したり見直したりすることができるので「創造力」を育む活動に適した素材になる。

(2) 子どもにとらえと本題材及び本学校園図画工作・美術科の考えを踏まえて、本題材を展開するにあたり、子どもが自らの学びを自覚できる図画工作の授業づくりに際して、以下のように指導していきたいと考える。

造形表現の可能性を広げるために素材、技法などを吟味したり、表現テーマや表現意図に合致しているかなどについて検証したりできるように、新たな視点を示す。

本題材では、素材であるカラーセロハンと出会い、紙とは違う質感や手触りを確かめ、はさみなどで加工できることを確かめる。また、セロハン越しに周りの景色を見たり、光にかざして透過光の美しさに気付いたりするための活動を十分に行う。子どもの表したい気持ちを引き出し、造形表現への願いを耕すことを導入時の要点としたい。

子どもが素材を楽しみ味わう中で高めていく、何かを作りたいという動機をきっかけにして、教師の意図的な提案のはたらきかけを行う。カラーセロハンを切り取り、自由に組み合わせでラミネート加工することを知る。また、ラミネートしたものの自体を楽しんだり、形を切り出して並べたりつないだりする面白さを味わう。それらについての自分の思いと向き合ったり、友だちの考えに触れたりする中で、表したいことを見いだしていくようにしたい。

色や形から見立てたことや、組み合わせられた模様やそれらによるイメージを大切にしていって、ラミネートから形を切り出したり、切り出した物をつないだりして表したいことを明らかにするようにする。

教師は、子どもが表したいと漠然と考えていることについて、子どもの考えや話に耳を傾け、その意図をつかみ共感したり、それはどのようにしたら表すことができるのかなど一緒に考えてたりする。これにより、学びの自覚が促され、造形活動に対する意欲が高まり、思い付いたことや、表したいことに向かって熱心に表そうとする力、すなわち、「創造力」や「自己実現力」を伸ばし、造形表現を追求する姿を引き出すことができると考える。

子どもの造形表現への願いを確かなものにするために、子どもの必要感に応じた「掘り下げる」「提案する」など教師のはたらきかけを行い、考えの根拠や理由を明らかにする。

互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させるために、学び合いの視点や論点を明確にする。

題材導入時の学習のめあては「カラーセロハンのすてきを見つけよう」とする。そこでのふりかえりは「カラーセロハンでどんなことができたか」となる。そして、次時に向けては「見つけたことよさや面白さを生かしてもっとしたいことを考えよう」と問いかけることができる。教師は、このふりかえりの視点に立って、子どもたちに自分の考えや友だちの考えのよさを気付かせ、自分の考えがどのように明らかになったのかを問いかけるようにする。素材体験それ自体は、低学年の子どもにとって表現テーマに直結しにくいという側面もあるので、子どもの気付きや考えをきっかけとして、教師から意図的な場面設定として表現方法を示すことにする。それは、子ども達が表したいと願うことに対して教師が寄り添い、「それであればこういう方法はどうか。」と提案する形をとることにする。

教師は、それぞれの学習場面の中で、子どもの気付きや考えに対して、「どうしてそのように思ったのか。」などの言葉で、その考えの根拠を深く問う、掘り下げるというのはたらきかけを行う。また、子どもの追求意欲を刺激するように多様な見方や考え方を視点という形で示し、子どもの気付きや考えを学習集団全体につなげて行くような、提案するというのはたらきかけを行う。友だちと一緒に自由に発想し、表し方の可能性の広がりを楽しみながら造形表現を追求することができると思った。個性的な見方や考え方が影響し合い、考えが整理・統合され、新しい表現方法を見いだす力「問題解決能力」の育成が期待できる。

#### 4 展開計画（全6時間 本時5／6）

次	時	主な学習と具体的な学習・内容	◇願う子どもの姿
1	1・2	○カラーセロハンのすてきをみつけよう ・光にかざしたり，切り取った形を並べたり組み合わせたりしながら，素材の魅力を十分に味わい，発想を広げて遊ぶ。	◇素材の特徴に気付き，覗き込んだり重ねたりして，色の変化を楽しんでいる姿 ◇透過光がものに写ることや，切り取った形を並べて組み合わせることの面白さを見つけ出している姿
	3・4	○カラーセロハンを組み合わせてラミネートしよう	
2	⑤	○すきとおる色と形はすてきだな。切って，つないで遊ぼう！ ・ラミネートしたセロハンを切ったりつないだりしながら，表したいことを見つけて作る。	◇ラミネートしたセロハンの形や色，模様や想起するイメージを手がかりにして切り取り，つないだり，身の回りを飾ろうとしたりしている姿
	6	○教室に飾ろう ・作品がきれいに見えると思う場所を見つけて飾る。	◇透過光が写る場所を選んで飾ろうとするなど，表したものに適した場所を見つけ出している姿

#### 5 本時の学習

##### (1) ねらい

自分や友だちの活動を見て，互いの表し方の特徴やよさに気付くことで，新たな発想を獲得したり見直しを図ったりしながら，自分の活動に取り入れることができる。

##### (2) 展開

学習場面と子どもの取組	教師の支援と願い・評価
<p>1. 前時を振り返り，学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セロハンを並べるだけじゃなくて重ねたら色が増えたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラミネートセロハンの使い方のよさや面白さについて，前時の気付きやふりかえりを用いて確認し，活動の方針を明らかにしながら学習のめあてにつなぐ。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">「すきとおるいろはきれいだな。きって，つないであそぼう！」</div>	
<p>2. ラミネートセロハンを加工して，造形遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青いセロハンの模様を長めに切ってつないだら，川みたいになるよ。</li> <li>輪のようにつないだら形がつながってお話みたいだよ。転がると面白いな。</li> <li>窓のところで影絵みたいにして遊べるよ。友だちと一緒にしてみたいな。</li> <li>どんどんつないだら，カラフルなタワーになってきたよ。</li> </ul> <p>3. 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室の窓を友だちと一緒にきれいに飾ったよ。お話を考えて工夫して並べたよ。</li> <li>つないで輪にしたらおしゃれなベルトができたよ。友だちがきれいと言ってくれてうれしかったよ。</li> <li>友だちが考えてくれて一緒に作ったら，大きなタワーができたよ。教室の窓の近くに飾りたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>素材を切ったりはったりする表現方法の魅力に注目して，活動への意欲を高め，追求の手がかりを得る。</li> <li>根拠や理由を問い返しながら，意図や考えを明らかにするように促す。</li> <li>友だちとの共同から展開し変化する造形表現や，身の回りの場所から手がかりを得て思いついたことをもとに，発想が広がるようにする。</li> <li>活動の過程を画像として記録に残しながら，子ども自らが学びを振り返り，表現の広がりや工夫点について意識できるようにする。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">評価の観点(創造的な技能)</p> <p style="text-align: center;">互いの表し方の特徴やよさに気付くことで，新たな発想を獲得したり見直しを図ったりしながら，自分の活動に取り入れることができる。</p> <p style="text-align: center;">【評価方法 作品・発言】</p> </div>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の中で思い付いたことなどを表現に反映することができたかということについて，ラミネートセロハンの使い方や表し方の工夫，友だちの取組のよさに視点を置いて振り返るようにする。</li> </ul>

